



## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」（ボラサポ・九州） 第3回助成決定にあたって

### はじめに

3月24日、「ボラサポ・九州」の第3回目の助成先を決める運営・審査委員会（以下委員会）を開催し、45件、合計9,338万円の助成を決定いたしました。

平成28年熊本地震から、4月14日で一年が経ちます。

3月現在、熊本県では、応急仮設住宅4,181戸に被災された10,990の方が、また、県内に点在する民間アパートなどのいわゆる「みなし仮設住宅」13,530戸には31,247の方が入居し、いまだ不便な避難生活を余儀なくされています。

支援内容は緊急救援から仮設住宅等に居住する高齢者等への生活支援に転換しており、継続的な見守りによる孤立防止の活動等の支援は、今後ますます重要となります。

### 1. 第3次応募状況と助成決定状況

1月16日から受付を開始した第3回目の助成公募では、74件、合計1億7,784万円の応募をいただきました。応募の内訳は次のとおりです。

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| ・「短期プログラム」（活動日数14日未満）     | 5件・170万円      |
| ・「中長期A部門」（活動日数14日以上30日未満） | 5件・489万円      |
| ・「中長期B部門」（活動日数30日以上）      | 64件・1億7,125万円 |

今回の応募件数は、前回に比べ、約4割増えました。事務局では、平成28年12月～平成29年1月にかけて、熊本県内において被災地の団体に向けた説明会を開催したことも影響していると考えます。

応募状況について、活動地域は26.5%が益城町、20.0%が熊本市、約12.9%が西原村となっており、次いで南阿蘇村、御船町となっています。

活動内容については、最も多かったのがコミュニティの再生活動で23.6%、サロン活動等が15.5%、子どものケアや居場所づくり・学習支援などの活動が10.9%、仮設住宅などの生活支援・見守り活動8.6%と続きました。

コミュニティ再生活動やサロン活動の割合は、前回のおよそ4倍に増えていて、被災地では、生活の支援を受けながら、被災者同士の交流を通して、地域のつながりや日常を取り戻そうとする段階に入っていることがわかります。

活動団体の所在地は、熊本県内の団体が50.7%と半数を超え、九州各県からの支援を合わせると、62.7%となっています。また、地元の団体で、これまで遠方から被災地に入り活動をした団体のノウハウを引き継いで支援活動を始めたところも見受けられました。

## 2. 選考にあたっての考え方

前記のとおり、生活支援活動やコミュニティの再生に向けた取り組みが増え始めていることが見受けられます。選考にあたっては応募要項の基準を踏まえ、次のような観点に留意しました。

- (1) 地元の機関、団体との情報共有をはじめ、役割分担も含めた具体的連携が図られているか
- (2) 生活支援、緊急支援など、応募団体が被災者、被災地域からのニーズに即した活動であるか
- (3) 被災者をはじめ、地元住民の活動への参加の配慮を行っているか

委員会では、活動内容が「被災地で暮らす人たちの潜在的な力を引き出し、高めていこうとしている活動」であるかどうか等を重視して審査をすすめ、災害で顕在化した地域課題を解決しようとする団体への助成を決定しました。

また、なかには被災した方々にとって、「誰かがやってくれる、あるなら参加したい」という活動ではなく、被災者の主体性の発揮につながることを願いつつ「被災者が必要とする活動」に助成したいという思いから、助成を見送った案件もありました。

なお、第3次応募受付時において、第1・2次助成による活動を継続している団体（2017年1～3月を活動終了時期としている団体に限る）については、活動終了後すみやかに精算・活動報告をすることを条件として助成を行うこととしており、報告が確認され次第、追加助成を予定しています。

## 3. 今後の予定について

委員会では、今後、国や被災自治体がインフラの整備とともに施策として実行する「地域づくり」のプランを、被災者の方々への支援としてどうつなぐのか、そして、その上でなお必要とされる民間の支援活動を支えていくべきという意見も出されました。

「ボラサポ・九州」は、財務省による指定寄付金としての受け入れ期間（平成28年5月13日～平成29年3月31日）が終了しましたが、発災1年を迎えた被災地の現状を踏まえ、生活支援の継続や被災者のニーズにそった支援をつないでいくために、引き続き寄付金を受け入れ、復興を支える支援を継続して参ります。引き続き、皆さま方のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、これまで全国の個人・企業の皆さまより多くのご寄付をいただいておりますことに深く感謝いたします（寄付額：509,788,932円／3月末現在・概算）。

今回助成が決定した団体におかれては、貴重な財源による助成であることをご理解いただき、有意義な活動を展開されるよう期待します。

「ボラサポ・九州」の今後の支援の予定につきましては、ホームページで公表します。

（中央共同募金会ホームページ：<http://www.akaihane.or.jp/>）

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」  
運営・審査委員会 委員長 山崎美貴子